



# 海 青



2024年3月12日

学校便り No.12

校長 原 寛喜

唐津市鎮西町横竹838番地9

学校教育目標

**海青中を誇りに思う生徒の育成**  
～優しさあふれる学校に～

## ～第11回卒業証書授与式～

3月8日（金）69名の卒業生が巣立ちました。卒業生は、中学校生活3年間で大きく成長し、自信に満ち溢れ、日々輝きが増しているように感じられました。1・2年生にとっての3年生は、良き手本であり憧れの存在であったと思います。卒業生には、「人を大切にし、人の良さを受け入れ、いろんな人との繋がりを広げていってほしい。」「これから出会うであろう、楽しいこと、嬉しいこと、困難なこともエネルギーに変え、見違えるような大人へと成長し、それぞれの夢や目標に向かい、決して歩みを止めない強い決意と、多様性を受け入れる温かな心で、社会の一員として活躍することを期待している。」ということを伝えました。海青中学校の誇りともいえる卒業生の前途洋々たる未来を願っています。



本年度、本校教育に対して、ご支援ご協力をいただきました保護者、地域の皆様方ありがとうございました。今後とも職員一丸となって生徒の支援を行ってまいりますので、よろしく願いいたします。

## ～部活動等の結果～

### ◇新年書き方会地区審査

硬筆（県特選） 入船宇生

（県佳作） 中村瑚愛、石山結依可

（地区特選）中村瑚愛、入船宇生、石山結依可

（地区入選）片岡優月、岩本哲昇、宮崎樹実、山口聖可、小野航瑤、常住桃香、吉岡莉子、一ノ瀬史海  
坂本浩崇、山崎友愛、川崎穂希、向穂乃華、山口美波、龍造寺隼摩、向美沙希

（地区佳作）松尾優、伊藤紗彩、上野愛里、椎野絢翔

毛筆（県入選） 浦丸杏樹

（県佳作） 平野心温、古舘優寿、古舘愛綾、古舘 粹、坂本竜次郎、坂本幸駿、小形侑衣那

（地区特選）浦丸杏樹、平野心温、古舘優寿、坂本夕凪、古舘愛綾、古舘 粹、坂本竜次郎、岩本憲親  
坂本幸駿、小形侑衣那

（地区入選）河上心優、松岡真優、古舘優菜、榎優花、森琴音、佐藤莉音、小松琉寧、山下滉斗

（地区佳作）坂本直弥、山下大翔

### ◇学童美術展（立体）

県特選 浦野萌花

県準特選 松本那菜、牧山琉伊斗

地区入選 増山楓、榎莉久、中尾留菜、浪口明依、古舘優菜、山口聖可、坂口晴飛、坂本夕凪、古舘愛綾

古舘粹、一ノ瀬史海、坂本浩崇、佐藤莉音、藤本花奈、松本蓮、松本愛音、山口美波

浦野蘭々、牧山彩羽、山口輝流、石井優馬、小形侑衣那、椎野絢翔、富永旺祐、中尾優心、向美沙希

◇相知蔵木剣道大会 女子個人 準優勝 坂本夕湊

◇佐賀県教育委員会教育長表彰 牧山蒼空

◇からつ児童生徒俳句・川柳大会 入選 杉田陽和 佳作 松本結羽、浦丸慶次郎、坂本苺花、坂本琉世

◇野球部 スポーツショップアイカップ争奪唐津地区中学校軟式野球大会 ベスト8

◇バレーボール部 波戸岬杯中学生親善バレーボール大会 第3位

## ～生徒の意見が掲載されました～

佐賀新聞（わかもの）に掲載されたので紹介します。

### 補食の必要性 2年 榎 優花 2月2日（金）

補食とは、3度の食事以外に必要な栄養やエネルギーを補給することだ。新生徒会長は公約として、「補食」を演説で掲げた。生徒は賛成の意見に傾いている。だが私は、学校で補食に取り組むのは反対だ。

まず、一つ目の根拠として、補食する時間の問題がある。補食をとる時間は運動する1、2時間前もしくは運動後だ。土日の部活動前後や試合の前後ならまだしも、平日だと給食の時間や下校の時間とかぶってしまうので無理だ。

二つ目は、補食とまったく関係のない食品を持ち込む可能性があることだ。まだルールなど何も確立していないので、補食はまだ必要ない。

これに対し、「ではルールを作って守ってもらえばよいのでは」という意見もある。しかし、日ごろからルールを守っていないのに、補食のルールは守れるというのはおかしい話だ。前年度の生徒総会で、生徒会長が「ルールを守らずに、自分の好きなことだけに取り組むべきではない」と話していたのを覚えている。私もその通りだと思う。

以上のことから、学校で補食を実現するのは現段階では無責任であると思う。

### 補食を実現可能に 2年 山崎 友愛 2月2日（金）

中学1年生の夏だった。猛暑の中、部活で倒れかけたことがあった。夏は部活時間が長い。だから体力的にも気持ち的にも追い詰められていた記憶がある。これらの出来事を踏まえ、特に夏の季節に補食が必要だと思う。

根拠として二つのことが挙げられる。第一に中学生という成長期に、補食は不足しているエネルギーや栄養を補ってくれる。第二に午後の部活のパフォーマンスを向上させ、しっかり体を動かしチームに貢献することが可能になることなどが挙げられる。

確かに学校に食べ物を持ち込むため、ごみの増加や登下校時の飲食という問題が考えられる。しかし、ごみ問題は各自ごみを持ち帰り、学校に滞在中に食するものに制限するなどの対策を行えば、問題は解決するだろう。

したがって、ハードなパフォーマンスが必要な部活や、夏日などに補食は必要不可欠だと思う。

### 実現への道 2年 辻村 蒼柁 2月11日（日）

私は、補食に関するアイデアは、ぜひ前向きに検討するべきだと思います。

私は硬式野球チームに所属しています。このチームでは、去年から練習の途中に食べる補食を行っています。中学生は体づくりがとっても大事な時期です。補食を取り入れることで、ここ2年間で体重、筋肉がついてきていました。球速、飛距離もアップし、そのおかげで好成績を残せ、部活動強化にもつながっていると思います。今年日本一になったチームも、補食をとって体づくりをすることで個人のレベルも上がり、より強くなったと語っていました。

しかし学校に食べ物を持ってくるのはだめだと思う人もいるかもしれません。そこで安全で保存性が高いパンやゼリーなどを持ってくれば、補食は学校でもできると思います。

部活動強化にもつながるので、ぜひ補食の早急な実現に努めてほしいです。

### 補食は今必要か 2年 古舘 粹 2月11日（日）

私は、補食は今取り入れるのではなく、今後取り入れるべきだと考える。

補食についてネットで調べてみると、集中力を高める効果が狙えるらしい。実際、私も空腹で集中できていないときがある。

前例のない補食を取り入れるのは、全国の中学校に大きな影響を与えるという意見もあると思う。しかし、現在の校則を学校全体が守れているかといえば違う。補食を取り入れるにあたって、新しいルールも増えるだろう。また、給食の食べ残しなどがよく見られる。そんな状況で補食を取り入れるのは中途半端だと思う。だから私は、全員が今あるルールを守れる状況になったときに実現するべきだと考える。

補食を取り入れるために一人一人が取り組めば、それが自分や学校環境に変化をもたらすのではないかと考える。

※保護者の皆様へ：学校便りに表彰関係も含め、生徒名を記載する場合があります。ご都合により掲載を遠慮される場合は、担任までお伝えください。よろしくお願いいたします。